



愛知県がんセンター

がんセンター

NEWS

Aichi Cancer Center
NEWS

2026年

10月

vol.98

発行 愛知県がんセンター Tel. 052-762-6111(代)

今号のニュース

膵臓がん検診が始まりました(2ページ)

第25回中部地区がん医療連携学術講演会を開催しました(2ページ)

新部長・センター長のご紹介(3ページ)

がんの疑いがある方への二次検診のご案内(3ページ)

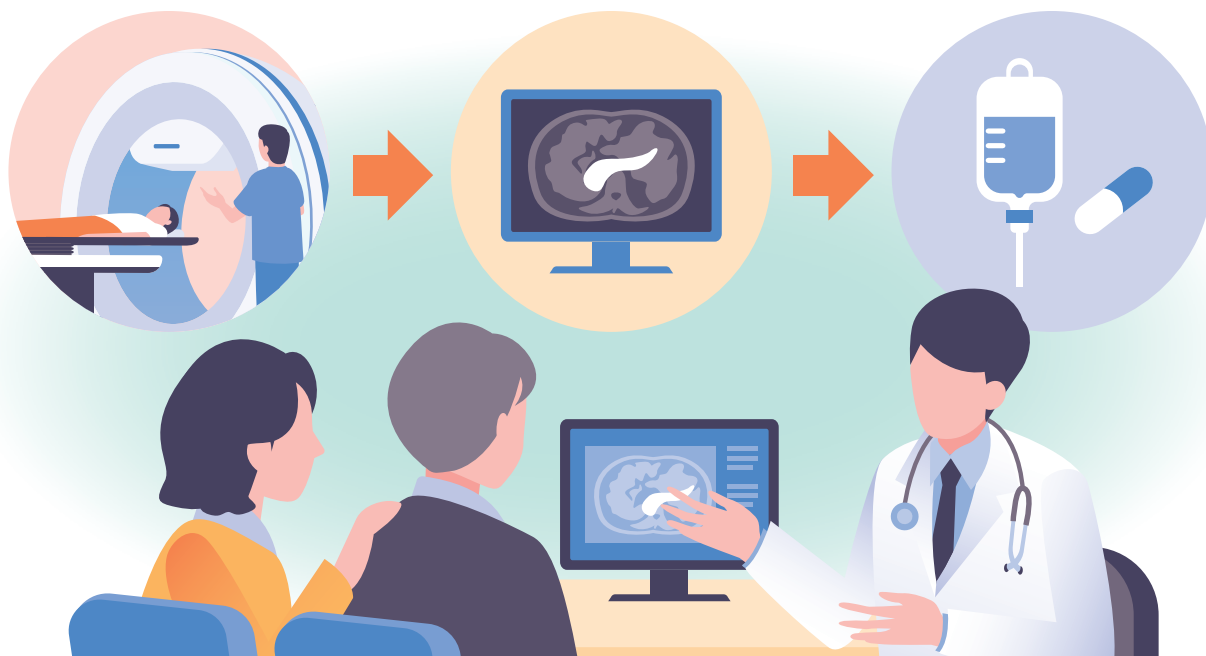
高校生向け基礎実験体験講座の開催報告(4ページ)

高校生一日看護体験を行いました(4ページ)

病院トピックス

呼吸器内科部長 藤原 豊・呼吸器内科部医長 清水 淳市

新しい気管支鏡技術を導入しています(5ページ)



【栄養管理部おすすめメニュー】

ごはんのお供 ～しいたけひじきみそ～(4ページ)

【イベント・講座インフォメーション】

2026年度愛知県がんセンター公開講座(第1回開催報告)(7ページ)

「遺伝性がん当事者からの手紙」写真パネル展開催のお知らせ(7ページ)

愛知県がんセンターYouTubeはじめました(7ページ)

【シリーズ:とうろく医探訪】No.41

にのクリニック 内科・消化器内科・在宅ケア

院長: 二宮 淳 先生(6ページ)



愛知県

第25回中部地区がん医療連携 学術講演会を開催しました

運用部経営戦略課医事グループ 主任 長谷川 晶

2026年8月1日、メルパルク名古屋にて「第25回中部地区がん医療連携学術講演会」を開催しました。当日は多くの医療従事者にご参加いただき、がん医療のさらなる発展に向けた理解を深めるとともに、地域の医療機関と愛知県がんセンターとの連携につながる機会となりました。

講演では、原和生消化器内科部長から「愛知県がんセンターで始まる膵臓がん検診」、稲葉吉隆副院長兼放射線診断部長から「IVRを身近に」、室圭副院長兼薬物療法部長から「がん薬物療法の進歩と臨床腫瘍学／腫瘍内科の魅力」をテーマに、がん医療の最新の話題が紹介されました。



また、講師や参加者による情報交換も行われ、講演内容や日頃の診療に関する意見交換が活発に行われるなど、盛況のうちに終了しました。

今後も地域の医療従事者の皆様と連携しながら、がん医療の質の向上と地域医療連携の推進に努めてまいります。本講演会の開催にご協力いただいた皆様ならびにご参加いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

なお、次回の中部地区がん医療連携学術講演会は、2027年2月6日(土)にホテルメルパルク名古屋にて開催を予定しております。

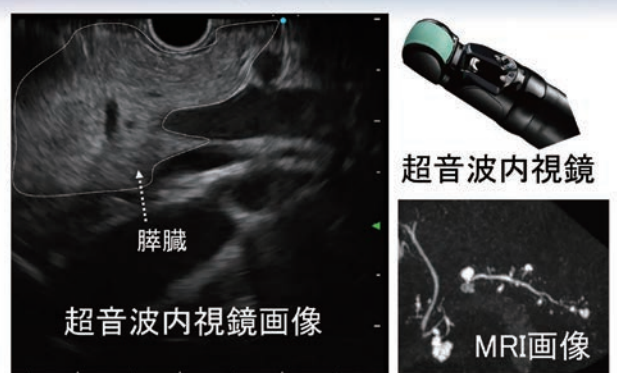
膵臓がん検診が始まりました

消化器内科部長 原 和生



愛知県がんセンターホームページ
<https://cancer-c.pref.aichi.jp/pancreatic-cancer-screening/>
◀スマートフォンの方はこちらから

膵臓がんは、初期には自覚症状がほとんどなく、一般的な健康診断だけでは早期発見が難しい病気です。膵臓がんの早期診断は、専門的知識や経験が必要なことが多いため、愛知県がんセンターで膵臓がん検診を行うことになりました。腹部超音波検査、MRIに加えて、超音波内視鏡検査(胃および十二指腸から超音波を用いて膵臓を観察する内視鏡です。同時に胃カメラも実施します。)を組み合わせ、膵臓がんを専門とする医師が総合的に判断します。超音波内視鏡検査は、入眠状態で受けていただくため、検査中の苦痛はありません。特に、糖尿病や膵がんの家族歴のある方には膵臓がん検診を推奨します。検診をご希望の方は、愛知県がんセンターのホームページをご覧ください。



整形外科部長就任のごあいさつ

整形外科部長 浦川 浩



2026年8月1日より整形外科部長を拝命いたしました浦川浩と申します。

1999年に産業医科大学を卒業後、刈谷総合病院で5年間初期研修と一般整形外科の研修を行い、その後、名古屋記念病院及び名古屋大学医学部附属病院にて約20年間骨軟部腫瘍の診療を行ってきました。

骨軟部腫瘍は骨や筋肉、脂肪など軟らかい組織にできる腫瘍のことをいいます。希少腫瘍の一種ですが、種類の多さからしばしば診断や治療が遅れるケースがあります。気になる症状がございましたら、お気軽に当科を受診してください。スタッフ一同、分かりやすい説明と機能を温存した最適な治療を提供するよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

希少がん・サルコーマセンター長就任のごあいさつ

希少がん・サルコーマセンター長 兼 臨床試験部長 安藤 正志

2026年9月1日より希少がん・サルコーマセンター長を拝命いたしました安藤正志と申します。

希少がんは症例数が少なく、診断や治療方針の決定、情報共有などに様々な課題があります。愛知県がんセンターでは、2016年10月サルコーマセンターを開設し、整形外科を中心に複数の診療科・多職種が連携した集学的な診療体制による専門性の高い診断・治療の提供に努めて参りました。2024年4月に希少がん・サルコーマセンターへ名称変更し、希少がんの患者さんが受診しやすい診療体制の構築を目指しています。

私たちは、これまでの経験を生かし、患者さん一人ひとりに最適な医療を届けるために努力いたします。また、地域の医療機関との連携を大切に、診療・相談・情報共有を通じて東海地区の希少がん診療へ貢献できるよう努力します。

今後も皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



がんの疑いがある方への二次検診のご案内

愛知県がんセンターでは、人間ドックや健康診断で「がんの疑いがある」と診断された方を対象に、二次検診を実施しております。ご希望の方は紹介状や診察予約が無くても受診を受け付けております。受診については下記までお問い合わせください。

【開業医の先生方へ】クリニックの検診等で「がんの疑いがある」患者さんがおられましたら、疑いの段階でも構いませんので、当院へご紹介ください。

問い合わせ・連絡先：地域医療連携室(直通) 電話(052)764-9892

愛知県がんセンターでは、がん研究を身近に感じていただくため、毎年、高校生を対象とした簡単な実験や研究者との対話を通じて研究を体験する「高校生向け基礎実験体験講座」を開催しています。

今年度は、「がんは、どうやって広がるの?～染色で解き明かす、がん転移のしくみ～」と題して8月7日(金)に開催し、愛知県内外から参加した16名の高校生が、がん細胞が手に入れる運動能力を観察し、がんはなぜ全身に広がるのかについて理解を深めました。参加者からは、「研究者の方々のお話を聞ける機会はなかなかないので、いい経験になりました」、「一生忘れることはないと思います」などの嬉しい声が寄せられました。今回の講座が将来の進路選択に役立つことを願っています。



高校生一日看護体験を行いました

看護部副部長 中山 衣代

8月5日、愛知県看護協会主催の「高校生一日看護体験研修」が愛知県がんセンターで開催され、38名の高校生が参加しました。病院長および看護部長の説明の後、病棟で血圧測定や車いす・ストレッチャーの操作などを体験し、看護師と患者さんとの関わりを学びまし



た。参加者からは「実際に患者さんと接して看護師の仕事を知ることができ、貴重な体験になった」との感想が寄せられました。また、質疑応答では「看護師としてのやりがいは何ですか」「人生やり直しても看護師を選びますか」などの質問があり、活発な意見交換が行われました。今回の研修が、看護職への理解を深めるだけでなく、将来の進路を考えるきっかけとなることを期待しています。



栄養管理部おすすめメニュー

調理師：原 邦彦 管理栄養士：嘉津山 瑞恵

「ごはんのお供～しいたけひじきみそ」

材料	
★干しいたけ	10g
★乾燥ひじき	5g
★ごま油	大さじ1/2
(お好みで炒りごま)	少々
～調味料A～	
★しいたけの戻し汁	100ml
★合わせみそ	大さじ2
★砂糖	大さじ2
★みりん	大さじ1

- 作り方
- ①しいたけとひじきはそれぞれ水で戻す。
しいたけは荒みじん切りにする。
 - ②鍋にごま油を入れて中火で熱し、①を炒める。全体に油がまわったら、Aを加えて弱めの中火で煮る。
 - ③焦げないようにヘラでまぜながら、とろみがつくまで煮詰める。

主食である「ごはん」は、エネルギーや力のもととなり、体や脳を正常に働かす役割があります。不足すると、体重が減るだけでなく、疲れやすくなり、集中力が低下し、そもそも元気がなくなります。また、エネルギー不足のため、筋肉も分解されてしまいます。主食も含めたバランス食を摂り、元気に過ごしましょう。



新しい気管支鏡技術を導入しています

呼吸器内科部長 藤原 豊 呼吸器内科部医長 清水 淳市



肺癌診断において、病変部位からの検体採取は最初の一步です。病理診断に加え、遺伝子変異や免疫治療の効果を予測するPD-L1発現を調べることも、治療方針を決めるうえで重要です。肺末梢病変の生検では、仮想気管支鏡画像、細径気管支鏡を用いて病変にアプローチします。末梢超音波プローブを用いると、病変に到達していることが確認できます。より末梢の枝を選択するために、気管支拡張用バルーンカテーテル「SUKEDACHI®」を導入しました。これを用いると2分岐ほど病変に近づけると報告されています。

ここ数年で、非小細胞肺癌に対して免疫チェックポイント阻害薬を用いた周術期治療が導入されました。周術期の治療方針を決めるためには、縦隔・肺門リンパ節転移の正確な診断が必要です。このために、先端にバルーンがついた超音波気管支鏡で、リンパ節を超音波下に穿刺します。吸引細胞診が主ですが、鉗子を挿入したり、クライオプローブを挿入したりして、より大きな検体が採取できるように努めています。最新の気管支鏡として、細径の超音波気管支鏡が登場しました。これを用いると、気管支が通り抜けてしまう肺門近くの病変にアプローチできます。放射線治療のためのゴールドマーカー留置も今年度から始まりました。今後も、新しいデバイス、内視鏡を積極的に導入してより適切な肺癌診療が行えるように努めてまいります。

目的に応じた内視鏡を使って、診断・治療に取り組んでいます



極細径
先端：3.0mm
チャンネル径：1.7mm

細径
4.2mm
2.0mm

太径
5.9mm
3.0mm

超音波内視鏡



より先の枝を選択するために“Sukedachi®”
X線不透過チップ X線不透過マーカー
バルーン

より大きな検体を採取するために“クライオプローブ”

参考文献 Miyake et al., “Balloon dilatation for bronchoscope delivery: first-in-human trial of a novel technique for peripheral lung field access,” Thorax. 2025 Dec 15;81(1):33-41. doi: 10.1136/thorax-2025-223218. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/41249019/>

愛知県がんセンターへの寄附金についてのお知らせ

愛知県がんセンターでは、医療体制の充実や研究促進のため、寄附金の受け入れをしております。

いただきました寄附金につきましては、がんセンターの医療・研究機器や設備の充実、がん克服に向けた研究推進などに使用いたします。

皆さまのご理解、ご厚志をお寄せいただきますようお願いいたします。

※2024年2月より、クレジットカードによりご寄附いただくことも可能になりました。

寄附・アンケートについてのお問い合わせ先

愛知県がんセンター運用部経営戦略課
企画・経営グループ

〒464-8681名古屋市千種区鹿子殿1番1号
電話 052-762-6111 (代)
FAX 052-764-2963
メール kihukin@aichi-cc.jp

スマートフォンの方は
▼こちらから▼



ご寄附のお礼



愛知県がんセンターへご寄附いただいた皆さまへの感謝の気持ちをより広くお伝えするため、がんセンターHPにおいて、2025年11月以降にご寄附いただいた方のご芳名の掲載をさせていただきます（お申込み時に、氏名の公表に同意いただいた方のみ掲載しております）。

多大なご支援をいただいておりますことに、職員一同、心より感謝申し上げます。



PCの方は
こちらから

<https://x.gd/5UNGP>



スマートフォン
の方は
こちらから

寄附者ご芳名



にのクリニック 内科・消化器内科・在宅ケア 院長 二宮 淳 先生

にのクリニックは2024年3月に名古屋市中川区春田に開業いたしました。総合内科、消化器内科、在宅医療が専門で、外来診療、内視鏡検査、訪問診療を三本柱とし、医師3名で診療を行なっています。特定健診やがん検診の受け入れや、日常診療で積極的にCTを活用し、がんの早期発見、診断にも力を入れています。当院から車で20分圏内の患者様には、住み慣れたご自宅や安心できる施設で訪問診療を行い、緩和ケアも行っています。

私はこれまで市中病院や在宅専門クリニックにて、多くのがん患者様の診療に携わってまいりました。内視鏡でのがんの診断や手術、抗がん剤治療、また、治療を終えご自宅や施設で最期を迎える患者様の在宅医療を経験してまいりました。その過程で感じたことは、医師は患者様とご家族に「向き合う」だけでなく「同じ目標を見据え伴走する」ことが大切であるということです。最先端の治療だけが患者様にとって最善の選択肢とは限りません。病気を治すことだけではなく、自分の理想の暮らしや幸せを追求したい患者様もいらっしゃいます。私は、その気持ちを受け止め、理解し伴走できる医師でありたいと考えながら、日々、診療を行なっています。



当院は、これからも愛知県がんセンターと緊密に連携し、がん治療が必要な方、ご自宅や施設で在宅医療を希望される方など、患者様やそのご家族の想いに寄り添いながら、患者様1人1人が納得のいく診療を提供してまいります。

医療機関情報 にのクリニック 内科・消化器内科・在宅ケア

診療科目 内科・消化器内科・在宅ケア

電話 052-387-7238

所在地 〒454-0985
名古屋市中川区春田5丁目ホームページ <https://ninoclinic.com/>

診療時間

受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	●	●	/	●	●	●	/
13:00~16:00	▲	▲	/	▲	▲	▲	/
16:00~19:00	●	●	/	●	●	/	/

▲当院は外来診療以外の時間を、内視鏡検査や在宅ケアの時間としておりますので、完全予約制となります。ご予約はWeb予約かお電話で受付しております。新規の方も予約をお取り頂けます。



JR春田駅【南口】にある市バス
「春田駅」バス停から徒歩約2分

編集
後記

第41回は、「にのクリニック内科・消化器内科・在宅ケア」の二宮 淳 先生です。JR春田駅から程近く、スクエアで目を引く外観とクリニック名「NINO CLINIC」は、地域のランドマーク的な建物といえます。中に入りますと、天井高めの空間にゆったりとしたソファ、胡蝶蘭のような照明がサロンのように落ち着きを与えてくれます。バックヤードも無駄がなく、外来診療や検査が終わった後に訪問診療へ速やかに出動できるよう動線を確保されています。限られた時間を使って、地域の老若男女、予防から診断、治療、そして最後を迎えるその時も、医師として地域住民を支えたいという二宮先生の想い・覚悟が伝わってきます。今後ともよろしくお願いいたします。y.sano



2026年度 愛知県がんセンター公開講座

第1回公開講座開催報告

運用部経営戦略課企画・経営グループ 主事 村上 海太郎

2026年8月3日(月)愛知県がんセンター国際医学交流センター大会議室において、公開講座「女性特有のがん～医療現場のリアルを知り、共に考える機会として～」を開催しました。当日は多くの方にご参加いただき、女性特有のがんに関する正しい知識や最新の医療について理解を深める機会となりました。

講座では、「乳がん治療のリアル」「婦人科がん治療のリアル」「がんセンター女性病棟のリアル」「がんセンター外来治療のリアル」の4つのテーマについて、当センターの専門スタッフがそれぞれの立場から講演を行いました。診断から治療、治療中の生活、入院・外来での支援体制まで、日頃なかなか知ることのできない医療現場の実際について、具体的な事例を交えながら分かりやすく紹介しました。

また、講演後には参加者と医師、看護師などのがん専門スタッフとの質疑応答の時間を設けました。治療に関する不安や疑問、体験に基づく質問が数多く寄せられ、参加者とスタッフが直接意見を交わす有意義な機会となりました。

本講座を通じて、女性特有のがんについて理解を深めるとともに、がんと向き合う方々を支える医療現場の取り組みを身近に感じていただく機会となりました。今後も愛知県がんセンターでは、地域の皆さまに役立つ情報発信を継続してまいります。



「遺伝性がん当事者からの手紙」 写真パネル展

リスク評価室 主任 高磯 伸枝

10月28日～11月17日、「遺伝性がん当事者からの手紙」写真パネル展を開催します。HBOC当事者の想いや悩み、家族への想いがつづられた手紙を写真とともに紹介します。11月15日には、WEB公開講座も開催します。



昨年の写真パネル展の様子

アンケートのお願い

がんセンターNEWSの誌面を魅力的なものにするにあたり、皆様の貴重なご意見を参考にしたいという考えから、読者アンケートを実施することになりました。

たいへんお忙しいところ誠に恐縮ではございますが、皆様からのご回答を、心よりお待ち申し上げております。

アンケートの回答はこちらから

※アンケートは5分程度でお答えいただけます。※アンケートの締め切りは、11月30日です。



PCの方はこちらから

<https://forms.gle/5KEerbzs3pdohduCA>



スマートフォンの
方はこちらから

がんセンターNEWS
第98号読者アンケート



愛知県がんセンター
YouTube
はじめました



皆さまの
チャンネル登録
よろしく願い
いたします

公開講座の問い合わせ先

〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号
愛知県がんセンター運用部経営戦略課 公開講座係
TEL: 052-762-6111(内線2511・2521)
FAX: 052-764-2963
愛知県がんセンター web ページ(公開講座)
<https://cancer-c.pref.aichi.jp/about/academy/>



医療連携のご案内			寄附のお願い
対 応 時 間	月曜日～金曜日 午前9時00分～午後7時00分 土曜日 午前9時00分～午後1時00分 （祝日、年末年始を除く）		詳細は 二次元コード またはHP 「寄附のお願い」を ご覧ください
電 話	052-764-9892（直通）		
F A X	052-764-9897（24時間稼働しております。）		
ホームページ	https://cancer-c.pref.aichi.jp/outpatient/community/		

外 来 診 療 担 当 表						
受付時間	午前8時30分から午前11時30分（都合により診療区の変更あるいは休診場合があります）					
休 診 日	土、日、祝日、年末年始					
※(SO)はセカンドオピニオン診療だけの場合に表します。 ※(初)ー(初診)・(再)ー(再診)・(非)ー(非常勤)						
2026年10月1日						
診療科目	月	火	水	木	金	
総 合 初 診	堀尾	原(和)	室	堀尾	田近	
消化器内科	原(和)(初) 田中(初) 奥野(の) 田近(SO)	原(和)(初) 田近 高木(初) 桑原 松本 水野	原(和)(初) 羽場 田近(初) 孝田 伊藤(信) 松本	丹羽(初)(第1・2・4・5週)＜午後> 水野(初) 奥野(の) 田中(初)＜午前> 伊藤(信)(初)＜午前> 孝田	田近(初) 水野 高木(初) 桑原 羽場 田中(SO)＜午後>	
呼吸器内科	渡辺(初) 山口(哲)(再) 堀尾(再) 清水(再)	藤原(豊)(初) 渡辺(再) 田宮(初)	清水(初) 藤原(豊)(初) 田宮(再) 山口(哲)(初)	山口(哲)(初) 堀尾(再) 清水(再) 渡辺(再)	堀尾(初) 山口(哲)(再) 藤原(豊)(初) 田宮(再)	
循環器科	小川	小久保＜午後>		小川		
血液・細胞療法	楠本(初・再) 齋藤(再)	鏡味(初・再)＜隔週は午後のみ> 山本(初・再) 楠本(初・再) 萩原(再) 大野(龍)(SO)(非)	河合(初・再) 齋藤(再) 大野(龍)(SO)(非)	楠本(再) 齋藤(初・再) 大野(龍)(SO)(非)	河合(再) 萩原(初・再)	
薬 物 療 法	安藤(正)(初) 室(初)＜午後> 舩石(初)	門脇(初) 谷口(初) 本多(初)＜午後>	室(初) 本多 成田(初)	谷口(初) 門脇＜午後> 舩石(初)	安藤(正)(初) 門脇(初) 谷口＜午後> 成田(初)	
頭頸部外科	花井(再)＜午前> 寺田(初・再) 担当医(初・SO)＜午前>	鈴木(秀)(初・再) 横井(再)(第1・3・5週)＜午前> 村嶋(再)(第1・3・5週)＜午後> 別府(再)(第2・4週)＜午前> 担当医(初・SO)＜午前>	花井(初・SO)＜午前> 小林(初・再)	花井(再)(第2・4週) 寺田(再)(第1・3・5週)＜午前> 横井(初・再) 村嶋(初・再)＜午後> 担当医(初・SO)＜午前>	別府(初・再) 小林(再)(第1・3・5週)＜午前> 鈴木(秀)(再)(第2・4週) ＜午前> 担当医(初・SO)＜午後>	
形 成 外 科	鈴木(寛) 奥村	奥村 大島 藤岡	藤岡 鍋谷(第2・4週) 大島＜午前> 鈴木(寛)(第1・3・5週)	鈴木(寛) 奥村 大島		
呼 吸 器 外 科	則竹(初・再)	松井(初・再)	坂倉(初・再)	中島(初・再)	鈴木(聡)(初・再)	
乳 腺 科	片岡(再) 小谷(初・SO) 遠藤(再) 原(文)(SO)(第1・2・3・5週)＜午後> 服部(再)(第4週)＜午後>	吉村(初・SO) 秋田(再) 原(文)(再)	小谷(再) 遠藤(初) 秋田(再) 原(文)(初)＜午後>	片岡(初) 小谷(再) 原(文)(再) 遠藤(再) 安藤(正)(再)＜午後>	秋田(初) 吉村(再) 片岡(再)	
消化器外科	安部 三澤(第2・4週) 木下(第1・3・5週) 山口(淳) 細井 稲田	三澤 木下 奥野(正)	小森康司 伊藤(友) 山口(淳)	伊藤(誠) 大内 安部 山田	岸田 安部＜午後> 稲田＜午前> 細井＜午前>	
整形外科・ サルコマセンター外来	濱田(初) 浦川(初) 吉田(初)	浦川(初)	吉田(初)		濱田(初) 藤原(那)(初)	
脳神経外科	灰本＜午後>		大野(真)	灰本	大野(真)	
泌 尿 器 科	小島(初・再) 川瀬(再) 中野(再)	担当医(初)	小島(再) 川瀬(初・再) 北野(再)	担当医(初)	北野(初・再) 平林(初・再) 中野(再)	
婦 人 科	篠田(初)	鈴木(史)(初) 渡邊 北見(初) 梶	植草(初) 北見(初)	鈴木(史)(第1・3・5週)(初) 篠田(第2・4週)(初) 篠田(第1・3・5週) 植草(初)	梶(初)	
放射線診断科・ 放射線IVR科	村田(初)	長谷川貴章(初)	稲葉(初) 山浦	村田(初)	稲葉(初) 加藤	
放射線治療科	古平(初) 立花(再) 小出(再) 大吉(再)	古平(再) 立花(初) 小出(再) 橋本(再)	古平(再) 立花(再) 橋本(初) 大吉(再)	古平(再) 小出(初) 橋本(再) 大吉(再)	立花(再) 小出(再) 橋本(再) 大吉(初)	
精神腫瘍科	小笠原(予約のみ)	小笠原(予約のみ)	小笠原(予約のみ)	小笠原(予約のみ)	小笠原(予約のみ)	
緩和ケア科	下山	下山 長谷川貴昭(非)	下山	下山	下山	
ペインクリニック			木村(非)＜午後>			
遺伝カウンセリング	井本	井本	井本	井本	井本	
がんゲノム外来	衣斐＜午後>	梅垣	梅垣＜午後>	梅垣	梅垣＜午後>	
※現在は、当院受診中の患者さんのみ受け付けております。						
糖尿病外来	細川(非)＜午後>			細川(非)＜午後>		
腎臓内科				担当医＜午後>		
皮膚科		酒井(非)＜午前>	太田＜午前>	澤崎(非)＜午前>		
眼 科		立川(非)＜午前>			立川(非)＜午後>	
リンパ浮腫		鈴木(寛)(第1・2・4・5週) ＜午前> 中村(第3週)＜午前>		藤岡＜午前>		

※再診予約制：診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください。052-764-2911（直通）午前9時～午後5時（土・日・祝・年末年始を除く）
※セカンドオピニオン外来は、全科で対応しています。（完全予約制・自由診療）

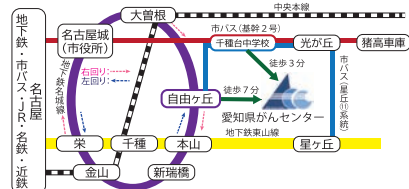
交通のご案内

★公共交通機関のご案内

- 地下鉄利用 名城線「自由ヶ丘駅」2番出口から徒歩7分
- 市バス利用 基幹2系統・星丘11系統「千種台中学校」下車徒歩3分

★車でアクセスのご案内

- 一般道路 本山交差点から北へ約7分、平和公園の北西
- 高速道路 東名高速道路「名古屋IC」から西へ約15分
名古屋高速「四谷出口」から北へ約10分



第98号 2026年10月発行

「がんセンターNEWS」に関するご意見・ご感想はmail: kohonews@aichi-cc.jpまたはfax: 052-764-2963にてお寄せください。
なお、個別の返答は致しかねますので予めご了承ください。

〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号 TEL052-762-6111(代)
ホームページ: <https://cancer-c.pref.aichi.jp>
編集: 運用部 経営戦略課 企画・経営グループ



がんセンターNEWSは古紙配合再生紙を使用しています。